

【第6回 JCC (Joint Coordination Committee) 開催】

(5月1日：バンコク (写真下))



2013年5月1日午後、本プロジェクトにとって6回目となるJCCが開催され、21名が出席しました。今回の主要議題は、①2012年度の活動成果発表、②2013年度の活動予定の発表、③エンドライン調査の結果共有、の3つでした。最初にJCCの議長を務めるウィタット副局長から過去4年間のプロジェクトの成功を称え、最終年度もお互いの強い協力関係の継続を呼びかけられました。またバンコク、チェンライ、パヤオでの成功事例をもとに将来的に他県にもMDT強化の取り組みを広げていきたいと語られました。

次にプロジェクトマネジャーである人身取引対策部サワニー部長が2012年度に実施した活動とその成果を発表し、オペレーショナル・ガイドラインの作成(タイ語・英語)、ケースマネジャー養成研修の開催、カウンセリングスキルワークショップの開催、本邦研修、プロジェクト紹介のDVD作成などについて説明しました。ウィタット副局長からガイドライン等がMDT関係者に役立つことからより広く配布していくよう要請がありました。

今年度の活動計画について、百生チーフから第3回ケースマネジャー養成研修、ジェンダーメインストリーミング研修、MDTガイドラインのプラクティカル版の作成、本邦研修、終了時評価、第2フェーズのための基礎収集・確認調査などの

活動予定が説明されました。また来年2月の最後のメコン地域ワークショップで、プロジェクトの成果を共有する旨についても説明されました。

さらに百生チーフよりエンドライン調査の結果も共有され、ベースライン調査と比較して、人身取引対策に対する人身取引被害者の満足度が高くなっているということがわかりました。これに対してウィタット副局長から出席していたシェルターの所長たちにねぎらいの言葉がかけられました。

最後にJICAタイ事務所の木下次長より閉会の挨拶があり、本プロジェクトに対するタイ政府の協力に感謝の意を述べるとともに、第2フェーズをJICAが行う予定であることが述べられました。今年度はプロジェクトの最終年度であると同時に、第2フェーズの準備等もあり多忙な年度になりますが引き続き皆様のご協力をお願いいたします。

同通信はプロジェクトの進捗状況及び関連情報をお知らせする目的でありJICAやカウンターパートの見解を示すものではありません。禁転載。